



# 兵庫社協だより

令和3年7月発行（第51号）

発行責任者  
**兵庫校区社会福祉協議会**  
 会長 柳川 清

〒849-0913  
 佐賀市兵庫町大字洲1295  
 （兵庫公民館内）  
 TEL 0952-23-3566

## ごあいさつ

兵庫校区社会福祉協議会  
会長 柳川 清



令和3年度兵庫校区社会福祉協議会総会は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から「書面議決」にて実施し、「2年度事業・決算報告・監査報告」「3年度役員・理事選任」「3年度事業計画・予算」「規約改定」を審議いただき、4議案全て承認されました。

2年度は、本来の福祉活動がかなり制約された中で、8年を経過した重点事業の「ちょこっとボランティア」（見守り・簡単な手助け活動）は、地域の自治会、民生委員・児童委員の支援の下、福祉協力員の皆さまも例年通り積極的な活動をしていただき、佐賀市でトップランナー

としての活動と評価されているところです。

さらに、年初より地区公民館で3か月毎開催の「福祉連絡会議」に主任児童委員も新たに参加し、地域の子どもを健やかに育む環境づくりを地域ぐるみで行うための取り組みが始まりました。

3年度は、コロナウイルス感染状況を静観しつつ、「高齢者ふれあいサロン交流会」「おたのしみ会食会」「地域福祉研修会」「地域福祉懇談会」「ひょうご安心カード再配布」などを計画しています。

私たち校区社協はコロナウイルスの早期終息を願い、地域の自治会ははじめ民生委員・児童委員、福祉協力員・コーディネーターや関係団体の皆さまのご協力をいただきながら、更なる地域福祉活動の輪を広げ「地域共生社会」の実現を目指して参ります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 令和3年度 兵庫校区社会福祉協議会 役員・理事の紹介



## 令和3年度 兵庫校区社会福祉協議会 事業計画

役職名	氏名	所属団体
会長	柳川 清	社会福祉協議会
副会長	内田 義和	自治会長会
〃	野口 賢一郎	民生児童委員協議会
事務局長	宮崎 一哉	長 光 園
庶務	古澤 貞善	民生児童委員協議会
会計	眞崎 敏子	食生活改善推進協議会
理事	松永 政文	兵庫公民館
〃	御厨 康司	老人クラブ長生会
〃	宮崎 和彦	青少年健全育成会
〃	徳島 秀文	教育振興会
〃	久米 幸子	ボランティアいなほ会
〃	長崎 武彦	身障者会
〃	米倉 明美	食生活改善推進協議会
〃	今泉 純子	福祉コーディネーター
〃	野口 美代子	〃
監事	船津 正隆	自治会長会
〃	福井 義晴	自主防災組織

期日	行事名	場所
4月6日	会計監査	兵庫公民館
4月6日	ちょこボラ会議	〃
4月20日	福祉協力員説明会&研修会（東地区）	〃
4月21日	福祉協力員説明会&研修会（西地区）	〃
5月10日	定期総会（書面議決）	
6月11日	高齢者ふれあいサロン交流会	兵庫公民館
6月25日	第1回理事会	〃
7月、1月	社協だより発行（年2回）	
7、10、1、3月	福祉連絡会議	各公民分館
7、10、1月	ちょこボラ会議（福祉連絡会議を受けて）	兵庫公民館
8月25日	第2回理事会	〃
9月13日	おたのしみ（お月見）会食会	アイランドヒルズ
9月17日	地域福祉懇談会	兵庫公民館
9月下旬	佐賀市地域応援研修会	
10月1日	地域福祉研修会（兼福祉協力員研修会）	兵庫公民館
10月1日	共同募金街頭募金活動	ゆめタウン
10月25日	第3回理事会	兵庫公民館
10月中旬	校区社協役員視察研修	
11月上旬	佐賀市校区社協役員視察研修	
12月22日	第4回理事会	兵庫公民館
2月上旬	佐賀市校区社協役員研修会	〃
2月18日	佐賀市社会福祉大会	市文化会館
3月4日	おたのしみ（ひな祭り）会食会	兵庫公民館
3月25日	第5回理事会	〃

## 「福祉協力員説明会&研修会」 に出席して

佐賀市社会福祉協議会  
中部エリアリーダー 藤満 晶子

4月20日（東部地区）、21日（西部地区）2日間に分けて、福祉協力員説明会&研修会が開催され、2日間で総勢90名の福祉協力員はじめ自治会長・民生委員児童委員の皆さまが参加されました。

まず、市と市社協から今年度策定された、「第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画」について研修をさせていただきました。

その後、柳川会長より「ちょこっとボランティア」活動の内容・注意点等について説明がありました。

兵庫校区は、佐賀市内でも最前線で「ちょこっとボランティア」の活動をされており、地域住民が安心して生活ができるような活動が定着していると思いました。参加された皆さま方は、熱心に耳を傾けられて、とても内容が充実した説明会&研修会でした。

### ◇CSW（コミュニティソーシャルワーカー）の紹介

4月より中部エリア（兵庫校区含む11校区）の担当になりました。今後皆さまと顔を合わせる機会も多くなるかと思います。よろしくお願いします。



藤満 晶子



辻 清隆



鈴木 幹太



## 高齢者ふれあいサロン交流会

事務局長 宮崎 一哉

6月11日に今年度のふれあいサロン交流会が開催されました。冒頭に兵庫町内の佐賀県医療センター好生館看護学院よりふれあいサロンに学生をボランティアとして参加させて頂きたいという提案があり、サロン活動を通して看護師の人材育成にもつながればという期待を抱きました。

続いて、おたっしゃ本舗城東の八谷氏、古川氏によ

る講演があり、高齢者がいきいき過ごせることを目指した取り組みの紹介がなされました。

その後参加された10サロンの参加者からそれぞれ課題等について意見を伺いました。

各サロンの共通課題として、新たな参加希望者や担い手が減少しているという声が多く挙げられましたが、一方で皆さんと楽しく活動していますという意見も複数出され、全員が共有することができました。

最後に市社協から出前講座や福祉バス、貸出遊具について紹介をいただき、有意義な時間を終えることができました。



# 「ちょこっとボランティア」 してみませんか

福祉コーディネーター 野口 美代子

小さなコミュニティでいつも挨拶を交わし合い近所のお年寄りさん一人暮らしだけど、今日もお元気そうだね、デイサービスに行かれているのねと、ちょっと気にしてそっと見守る。何か困っておいでなのかな？と感じたら、ちょっと声を掛けてみる。近くの子ども達も皆元気に幼稚園や学校に行ったね。

そんな日々の積み重ね・・・それが「ちょこっとボランティア」なのです。

兵庫校区社会福祉協議会では、各単位自治会で年間4回、福祉協力員さんより活動の報告や今後しなければならぬこと、活動の上で判断の付けにくいことなどの話し合いをします。



藤木・夢咲地区福祉連絡会議

手探りで始まった活動ですが、早9年目となりました。

孤独死を無くしたい、子ども達はみんな健やかに育ってほしいと願いを込めた活動です。

お互い様の心で、貴方のちょっとの時間を、「ちょこっとボランティア」をしてみませんか？

“できる人が、できる時に、できる事を”

## 「ちょこっとボランティア」 福祉協力員の紹介

令和3年4月30日現在

自治会名	氏名	自治会名	氏名
下分	久富浩紹	若葉団地	笠原明水
上分	田中義規		古澤智子
	川添節子	北修理田	藤原須美子
堀立	岡みどり		向井俊子
	吉武俊子	西中野	役野巖
若宮	池田美佐子		鷲崎輝彦
牟田	眞崎夕子		西岡由紀子
吉野	秀島祚憲		井崎常子
伊賀屋	西順子	藤木	野口美代子
	島由美子		古川光
中ノ吉	今泉純子	土井	枝吉良介
野中	川副博文	西中野団地	山口秀明
東中野	枝吉和子	いずみ団地	林晃
下	中川ありさ	夢咲	川谷昭彦
東	鶴郡蔵	ふれあいタウン	中澤美穂
西	内田義和	土井	吉富節代
市兵庫団地	山口マツ子	東中野団地	藤島直樹
	田中美代子		奥村美和子
	馬場井正枝	県兵庫団地	小池紀子
下村	富永喜康		岡田百合子
	瀬山新子		

福祉コーディネーター

東部地区担当	今泉純子	西部地区担当	野口美代子
--------	------	--------	-------

## 佐賀市校区社協役員研修会に 参加して

理事 宮崎 和彦

2月5日開催の研修会では「災害時における住民組織の役割」についての講演がなされた。

九州における近年の主な災害では、平成28年「熊本地震」、平成29年7月「九州北部豪雨」、令和元年8月「佐賀豪雨」県全域に大雨特別警報が発表された、そして令和2年9月台風10号では小学校に多くの人が避難されました。私も初めて危険を感じて避難しました。



“助けて！”が言いやすい地域を作るために、日頃から校区社協として取り組むためにどんなことが考えられるか？グループワークが行われ主な内容として、ちょこっとボランティア、顔見知りになる、まちづくり協議会、地域でのあいさつ運動、ふれあいサロン、自主防災組織の充実、福祉協力員の充実、などいろいろな意見が出され、どれも大切なことだと感じました。自身や地域住民による「自助・共助」は災害対応の基礎となり、日頃からの地域防災力が最も必要とされています。

今年は梅雨入りが早く、これから大雨など警戒が必要となります。一人一人が災害に対してどんな行動をとるか！平時の時に皆さんと一緒に考えてみましょう。



## 「兜作り」に挑戦しました

吉野ふれあいサロン 代表 秀島 祐 蕙

「子どもの日」を控え 4月のサロンは新聞紙を利用した「大きな兜」と、両面色折り紙を利用した「小さな兜」作りに挑戦しました。

新聞で作った兜は、丁度頭に合う大きさで、みんなお揃いで被って、パチリ！記念写真です。きれいな色の両面折



り紙で作った小さな兜は、色とりどりで1枚の紙に置くと、素敵な飾り物となりました。皆さん後ほど自宅の床の間や玄関に飾られたようです。

吉野ふれあいサロンは立ち上げて10年となりました。年10回計画して皆さんと顔を合わせてゆっくりとくつろぎ、お茶・お菓子・果物等いただきながら、楽しいひと時を過ごしています。

一人暮らしの方もおられます。家ではテレビとにらめっこで、話し相手もない日々ですので、サロンの日を心待ちにしてもらっています。



## ふれあいコインランドリー

兵庫ボランティアいなほ会  
副会長 八田 和子



6月14日、快晴！民生委員さんのご協力を頂き、75歳以上の独り暮らしの方からお預かりした32枚の毛布を、「いなほ会」会員が4ヵ所のコインランドリーで“お洗濯～乾燥”しました。冬の間大活躍した毛布が綺麗になり、届けられたふかふかの毛布に喜びでにっこり、民生委員さんも笑顔でご挨拶。コロナ禍で会の活動も行事もできず沈んでいた心が晴れ嬉しくて、地域の絆の大切さを感じた一日でした。関係者の皆さまに感謝です。来年もまたお待ちしておりますよ！



## 「おたのしみ会食会」の案内（予告）

1. 日時 9月13日(月) 11:00~13:00
2. 場所 アイランドヒルズ迎賓館(ゆめタウン西隣)
3. 対象者 70歳以上一人暮らし高齢者  
注：コロナワクチン接種者に限ります。
4. 参加費 500円
5. 内容 マジックショー&津軽三味線と民謡のつどい  
会食会(美味しいお弁当)。
6. 送迎 最寄りの場所より送迎バス運行  
帰り便：ゆめタウンでの買い物タイムを設けます。

★コロナウイルス感染拡大により中止する場合があります。  
★7月中旬～民生委員児童委員より案内します。

兵庫町若宮1471  
福所 誠様  
(故 信子様)  
兵庫町瓦町550  
牟田 昭紀様  
(故 哲郎様)  
兵庫町淵1863-2  
篠崎 禮子様  
(故 弘雄様)

寄付御礼  
(香典返し)

上記の方より御寄付を頂きました。  
心から厚く御礼申し上げます。(順不同)  
御寄付は兵庫公民館で受付けております。

# 兵庫社協だより（子育て編）

## 兵庫町のこども家庭支援

－「人生100年」の土台となる子育てを地域で支える－

庶務(兵庫地区主任児童委員) 古澤 貞善

### 【「教育無償化元年」を襲ったコロナ禍】

2020年4月から私立高校授業料の実質的な無償化と高等教育の無償化が始まりました。19年10月にスタートした幼児教育の無償化と併せて、この“三つの無償化”は子育て世帯にとって大変希望の持てる支援が実現したはずでした。

ところが、大事なこの「無償化元年」は、新型コロナウイルスの感染拡大によって様相が一変しました。例えば、幼児教育では、ようやく「幼児教育は大切だ」という価値観が広がりつつあったと思うのですが、コロナ禍によって、社会の関心は感染拡大の方に行ってしまいました。

コロナ禍は依然として収束の兆しが見えませんが、それでも子どもたちは育っていきます。だからこそ、未来ある子どもたちの学びと暮らしを守ることが大事と感じています。



### 【コロナ禍という困難な時代だからこそ大切な未来への視点】

コロナ禍にもかかわらず、地域の高齢化は進み続けています。むしろ、コロナ収束後を考えると、次世代の担い手である子どもたちの存在が、ますます大事に感じられてなりません。

その意味では、単に子どもの数が多いというだけではなく、子ども達一人ひとりが、生き生きと健やかに育つことが大切と感じるのです。

「人生100年時代」と言われますが、すべての子育てはその100年の土台・根幹となるものを育む重要な機会です。この困難な時代だからこそ、私たちは地域の子どもたちに、目を向けていきたいと思います。



## 【動き始めたヤングケアラー支援】



今からの介護（福祉）は在宅が基本となってきますが、ケアを必要としている人や高齢者はどんどん増えています。また、核家族や共働きも増えています。

こういった背景の中で今問題になってきているのが、「ヤングケアラー」の存在です。「ヤングケアラー」とは、本来なら大人が担うべき家事や家族の介護、身の回りの世話などを行っている18歳未満の子どものことです。

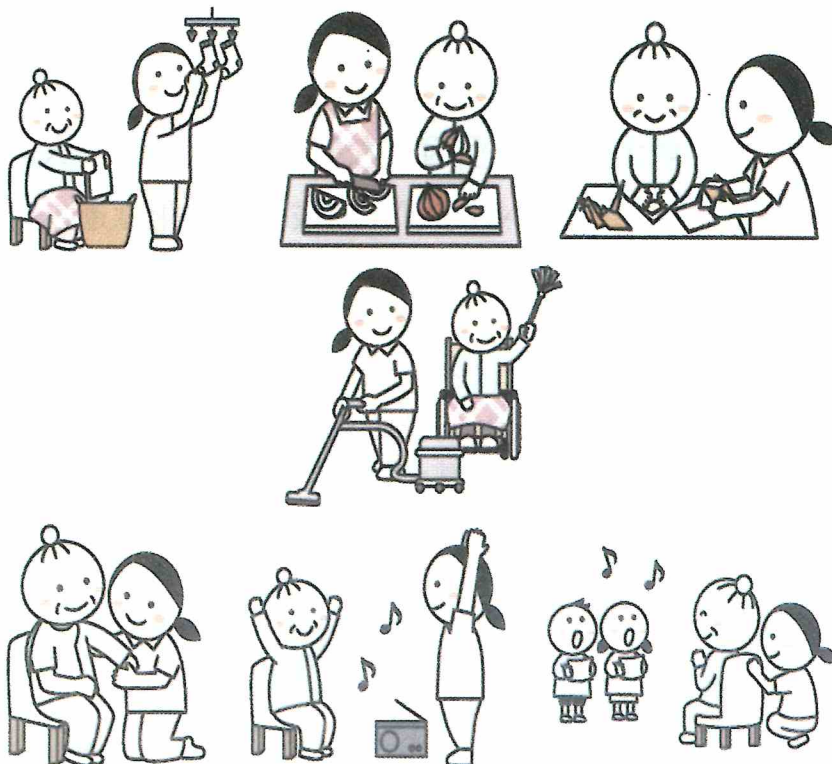
厚生労働省と文部科学省が4月にまとめた初の実態調査によると、世話をする家族が「いる」と答えたのは中学2年生の場合で17人に1人で、その中で1日に7時間以上を世話に費やしている生徒が、1割を超えていたということです。

「やりたくてもできないこと」を複数回答で尋ねたところ、中学生では▽「自分の時間が取れない」が20.1%、▽「宿題や勉強の時間が取れない」が16%、▽「睡眠が十分に取れない」と「友人と遊べない」がいずれも8.5%でした。

こういった子供たちは自身の状況を“普通”と思っている子が多く、また、誰かに相談したくても、昔に比べて頼れる親類が少なくなっています。

今、やっとこういった現状を把握していく取り組みが自治体によって始まりました。

今後、福祉、介護、医療、教育などの関係機関や専門職らへの周知や研修が行われていきます。



私たちは、兵庫町の中にも多くの「ヤングケアラー」が存在していることを意識して、子どもたちを見守り、支援していきたいと思えます。



# 兵庫社協だより

令和4年1月発行 (第53号)

発行責任者  
**兵庫校区社会福祉協議会**  
 会長 柳川 清

〒849-0913  
 佐賀市兵庫町大字洲1295  
 (兵庫公民館内)  
 TEL 0952-23-3566



## 謹賀新年



### 新年のご挨拶

兵庫校区社会福祉協議会  
会長 柳川 清



あけましておめでとうございます。

皆さまには、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、兵庫校区社会福祉協議会の活動に対し、日頃よりご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、一昨年よりの新型コロナウイルス感染症も第1波～第5波と繰り返し、現在も終息の目途が立たず皆様方も大変ご苦労されておられることと存じます。

この様な状況の中で、重点事業の「ちょこっとボランティア（見守り・簡単な手助け）」の「福祉協力員説明会」「地域毎の福祉連絡会議」や「高齢

者ふれあいサロン交流会」、「地域福祉研修会」、「地域福祉懇談会」、「先進地（唐津市鏡校区）視察研修」、また新規の「放課後児童クラブとの交流会」などは、関係者各位のご協力や日程変更などにより実施することが出来ました。

反面、コロナ感染防止の観点より、「定期総会（書面議決方式実施）」、「春・秋のおたのしみ会食会（秋はテイクアウト実施）」、民生委員児童委員協議会への助成事業「友愛・兵庫のつどい（訪問プレゼント配布実施）」などは、活動自粛を余儀なくされました。

今年はコロナ感染症の早期終息を願いつつ、自治会・民生委員児童委員・福祉協力員・関係団体や地域の皆さまなどの協力をいただきながら、地域福祉活動の輪を広げ「地域共生社会」の実現を目指して参ります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

### 会食会テイクアウトにて実施

9月13日、アイランドヒルズ迎賓館にて予定の「おたのしみ会食会」（70歳以上お一人暮らしの皆さま対象）が新型コロナウイルス感染症の影響により、民生委員児童委員・食生活改善推進協議会・社会福祉協議会有志の協力でテイクアウトで実施しまし

た。対象者の皆さまから上品で美味しいお弁当でしたとお声をいただきました。

次回3月4日は楽しい会食会が開催されることを願っています。



## 「地域福祉懇談会」 に出席して

佐賀市社会福祉協議会  
中エリア担当 藤 満 晶 子



1月22日、兵庫校区内の自治会長はじめ各種団体の代表者22名が集まり「地域福祉懇談会（小地域ネットワーク活動推進事業）」が開催されました。

懇談会では、佐賀市から「第4期地域福祉（活動）計画」における重点事業について、また、市社協が



ら令和3年度からの体制見直しに伴う支援の取り組み状況について、説明させていただきました。

柳川会長より、兵庫校区社会福祉協議会の活動状況と課題について説明があり、丁寧な話し合いが行われました。

地域住民の方々が、安心して住みよい地域になることを目指し、各関係団体が一つにまとまっていると感じました。

兵庫校区社会福祉協議会の今後更なるご活躍を期待しています。



## 「地域福祉研修会」に参加して

民生委員児童委員 瀬 山 新 子

10月29日、佐賀県医療センター好生館看護学院の中島歌与子副学院長による、「福祉活動における感染予防」のテーマで研修会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の事も興味を持って参加しました。

まず感染症の基礎知識として“感染症”とは？（細菌やウイルス、が人の体の中に入り病気を起こす）から始まり、感染は、感染源（人や食品）・宿主（抵抗力が弱い人）・感染経路（接触・飛沫、空気、経口）この3つの要因で起きる事を学びました。ただ免疫力

が高い人は感染しにくいそうです。

感染症に罹らないためには予防が第一で、標準予防としては手洗い・マスク・手袋。感染経路の予防としては飛沫・空気・接触・経口感染を避けるように。換気は2箇所開けるなどの注意が大切です。これから冬に向かって流行る感染症には、消化器系（ノロウイルス）と呼吸器系（風邪・インフルエンザ・新型コロナウイルス）などが有り、これらは人にうつして二次感染を起します。

どんな感染症も一番大事なのは丁寧な手洗いです。また口に入れる物、触れる物すべてに気を配り、まず自分が罹らないように、また人にうつさないように責任ある行動を心掛けたいと思います。





## 「先進地視察研修会」に参加して

兵庫校区社会福祉協議会  
庶務（主任児童委員） 古澤 貞 善

11月10日、唐津市鏡校区社会福祉協議会の活動を拝聴してきました。

鏡校区は近年開発が急速に進み人口増加が著しい地域と以前同様の農村地域とが共存する校区で、わが兵庫校区とよく似た地域です。地域内の鏡山小学校の児童数は千人を超えているとのことでした。

鏡社協の活動から印象に残った2点を報告します。

その1点目は、公助を見事に共助に結び付けていること。それは、地域が主体となった福祉の組織として校区社協を作りあげている点です。社協会員は、福祉員（市が任命している福祉員）、民生委員・児童委員、地区行政連絡員（地区代表）、その他一般の方、総数



151名で組織されています。そして、高齢者部会、児童部会、心身障害者部会、生活環境部会、ボランティア部会、女性部会の6部会が、社協の事務局からは予算の割り振りのみを受け、それぞれが独立して、やりたいこと・できることを責任持って実践されていました。わが兵庫校区では、各団体は活発に活動されているものの、トータルのコーディネーター役がない状態です。校区社協の地域での役割と立ち位置を、地域の状況が類似している鏡校区から見習っていくことが多く、また変革は急務と感じました。

もう1点は、支え合い有償ボランティア「鏡おたすけ隊」です。この活動はコロナ禍の2020年9月から始まったばかりですが、活動登録者47名、利用者も着実に増えてきています。利用券を公民館で購入し30分500円で2時間内だそうです。ちょっとボランティアが定着してきたわが兵庫校区でも、導入を検討していきたいテーマと思いました。

## クリスマスの贈りもの

兵庫地区民生委員児童委員協議会  
会長 野口 賢一郎

兵庫地区民生委員児童委員協議会では、例年「友愛・兵庫のつどい」を秋に開催しておりましたが、このコ

ロナ禍の中、昨年・今年と密を避けるため年末に民生委員児童委員が、75歳以上のお一人暮らしの皆さまを訪問し、そのご様子に直接接する事で体調などを推し測り、併せてささやかなクリスマスプレゼントを持参いたしました。

寒さに向かいますのでご自愛の程と、ご健勝とご多幸をお祈りいたします。



## 小城市探訪の旅

ふれあいタウン土井 おしゃべりの会  
代表 野田 均

10月25日、会員13名と小城市の肥前仏舎利塔・牛津赤レンガ館・清水の滝・土生（はぶ）遺跡公園・よつかん資料館・祥光山星巖寺・小城公園の角榎を探訪しました。当日は天気も良く、コロナも少なくなり絶好のコンディションでした。

この中で印象に残った場所は仏舎利塔：34号線を長



崎方面に向かっていくと右手前方の山の中腹に白いパコダ見えてきます。近くまで行きますと高さ38m直径40mの塔で中央部4カ所に黄金のブツダが収められており立派なものでした。またここからの眺めは佐賀平野が見下ろせてなかなかのものでした。

また星巖寺は小城鍋島家の菩提寺で入り口は五百羅漢が並び中に入ると鍋島家の墓標が多くあり歴史を感じさせるものでした。小城にはいろいろな所がありましたが、この2カ所が特に印象に残る旅でした。

次回も会員の皆様と楽しめる場所を訪問できればと思っております。



## 東よか干潟「シチメンソウ」見学

県営兵庫団地 サロンうぐいす会  
代表 小池 紀子

10月30日、介護施設ディフェスタ東与賀を体験見学に行きました。職員の方のおもしろい講話や軽い運



動で身体をほぐしたあと、とても美味しい昼食をいただきました。

食事のあと、ボランティアとして参加していただいた好生館看護学院の学生さんたちに付き添いをお願いし、近くの東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」の施設と、東よか干潟のシチメンソウの見学をしました。今回施設の送迎バスで楽しんでいただいた1日でした。



### 災害義援金を預託しました

8月佐賀大雨災害に対し、皆さまからご寄付頂きました浄財より9月3日5万円を佐賀善意銀行に義援金として預託しました。

一刻も早い復興を願っています。

佐賀善銀 2021  
義援金 受け付け 佐賀大雨  
佐賀市の兵庫校区社会福祉協議会（柳川清会長）は5万円を預託

### 「春のおたのしみ会食会」の案内

日時 3月4日（金）11:00～13:00  
場所 アイランドヒルズ迎賓館（ゆめタウン西隣）

対象者 70歳以上一人暮らし高齢者

注：コロナワクチン接種者に限ります。

参加費 500円

内容 マジックショー

日本民謡徳友会民謡のつどい  
会食会（美味しいお弁当）

送迎 最寄りの場所より送迎バス運行

★コロナウイルス感染拡大により中止する場合があります。

### 寄付御礼

（香典返し）

御寄付は兵庫公民館で受付けております。

兵庫町淵1632番地  
飯盛 宗夫様（故 スエ様）

上記の方より御寄付を頂きました。  
心から厚く御礼申し上げます。（順不同）



# 兵庫社協だより（子育て編）

## 兵庫町のこども家庭支援

兵庫校区社会福祉協議会  
庶務（主任児童委員）

古澤 貞善

国連が2030年までに目指すSDGsの17項目の中の3番目は「すべての人に健康と福祉を」です。皆様と共に、地域の中で目の行き届きにくい子供たちに光を当て支援していくことができるかを考え、工夫し、取り組んで行きたいと思えます。

子ども達のケアを、親や家族だけに負わせるわけにはいきません。特に核家族化やひとり親の家族が増えています。いま“社会全体で子育て”が大いに進んで行っていますが、未だ不足しています。これからは、校区の社協も児童福祉に貢献していく方針です。



### 「兵庫児童クラブのみんなと交流会」

12月27日午後、待望の児童クラブのこども達との交流会が実現しました。バイオリンの演奏のあと、みんなで「パプリカ」を何度も踊り、それからビンゴゲームをしました。心ばかりのプレゼントにみんな大喜びでした。

兵庫町には自治会のない地域や団地、マンションなどがありますが、そこにも多くの子ども達があります。児童クラブには、今

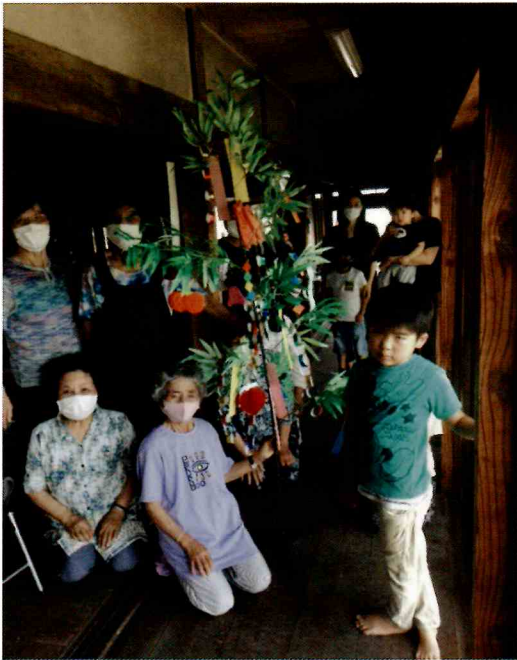
まで「兵庫の里祭り」等の地域行事に案内されていない子供たちが多数います。今回の交流会から児童クラブのこどもたちを地域に迎え、大切に見守っていきましょう。



## 高齢者ふれあいサロンで子供たちと交流（「吉野ふれあいサロン」から）

令和3年度の兵庫校区高齢者ふれあいサロンの事業計画によると、「七夕飾り」や「クリスマスツリー飾り付け」などを通して子供達や異世代交流を実施されるところがあります。

今回は吉野ふれあいサロンにおじゃましました。高齢者も子ども達も共に楽しいひと時を過ごされる様子を拝見し、この少子高齢化の時代に大切に育てていただきたい事業と感じました。



### ★今年度の活動を振り返って～今後の展望

令和3年1月から、主任児童委員が地域の福祉連絡会議に参加し、福祉協力員の活動の一つである「子どもへの声掛け」など子ども支援の活動をお聞きするとともに、各地域の状況を確認しました。

あらためて兵庫地区が地域によって全く違うことがわかりました。

コロナの影響もあり、地域で子どもの姿が見えないと聞きます。今後は、各地域で子どもが見える居場所を作っていきたいものです。

具体的には既に行われている高齢者サロンに子どもも参加できるようにしたり、地域に全世代が集えるコミュニティカフェ等を作っていきたいと思います。

また、今年度から各地域の高齢者や子どもの集いに好生館看護学院生がボランティアで参加しましたが、今後はさらに、こういった

活動を拡大させたいと思います。

幅広い世代が交流する場ができていくことが大事と考えています。

他の校区では、コミュニティカフェや子ども食堂があります。兵庫校区でもこれからは、このような活動が大事になってくると思います。

兵庫町では、登下校時の子ども達を見守り隊の皆様がしっかりとサポートしていただいています。また、様々な子どものための催しも開催していただいています。

しかし、すべての子ども達の幸福を目指す活動を考えたときに、朝食を食べていない子供やヤングケアラーのこと、病児・障がい児の兄弟姉妹（いわゆる「きょうだい児」）への支援などもしていきたい。そして、児童虐待未然防止の活動も大切ではないでしょうか。